

# 第288回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

— 令和5年11月期 —

## 【インデックス】

- 1 全産業(P.2)
- 2 建設業(P.3)
- 3 製造業(P.4)
- 4 卸売業(P.5)
- 5 小売業(P.6)
- 6 サービス業(P.7)

### 【調査方法】

会員企業1社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」(※従業員D Iについては今期水準)および「向こう3ヵ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をD I値で表します。

D I値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

### 【D I値とは】

D I値(景況判断指数)とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」	【売上】…「増加」-「減少」
【採算】…「好転」-「悪化」	【資金繰り】…「好転」-「悪化」
【仕入単価】…「下落」-「上昇」	【従業員】…「不足」-「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」-「困難」	

### 【調査対象業種】

建設業	総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業	鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業	建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業	飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業	宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

### 【調査対象数・回答状況】

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	45	27	26	35	172
回答数	22	29	13	14	21	99
回答率(%)	56.4%	64.4%	48.1%	53.8%	60.0%	57.6%

### <移動平均分析>

時系列データを見た場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

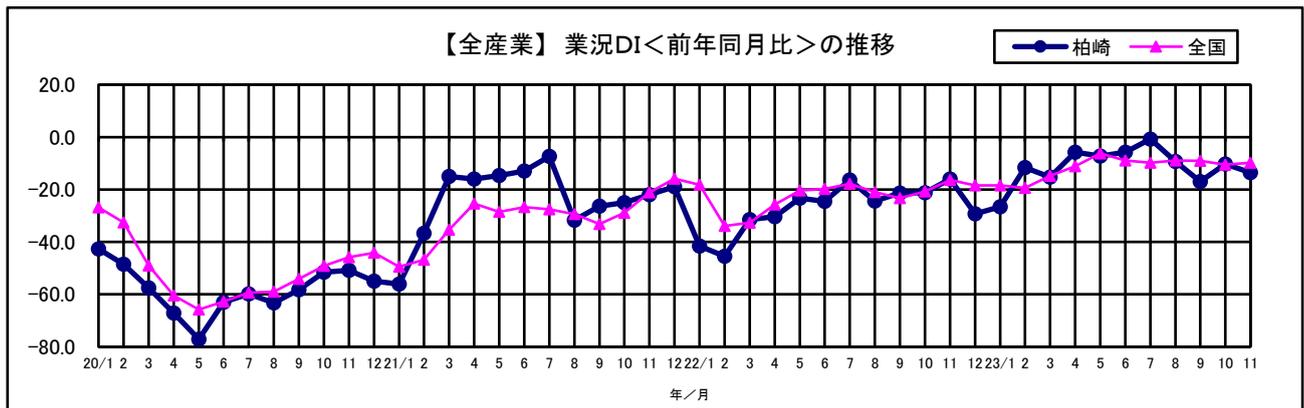
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヶ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



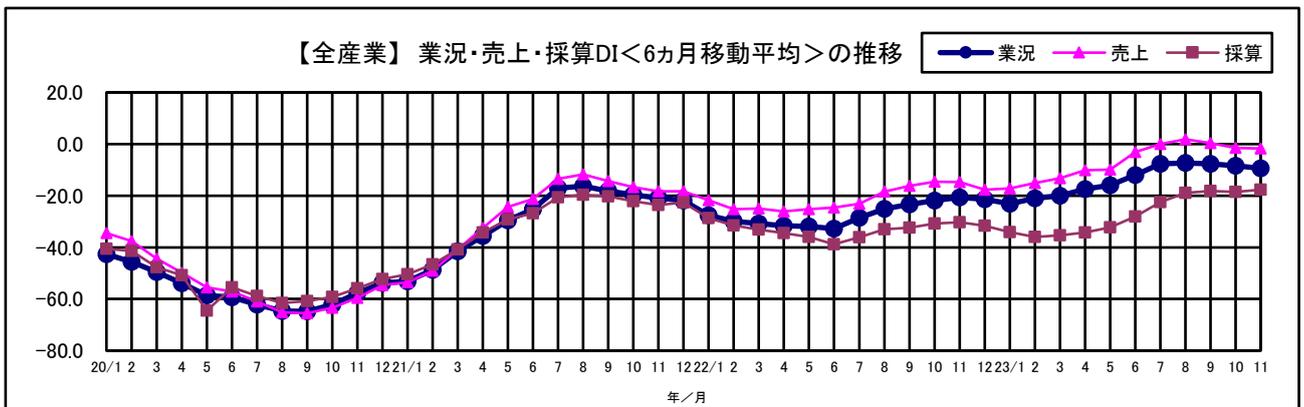
# 柏崎商工会議所

## ◆概況(全産業合計)

項目		23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	23年11月	先行き見通し 12月~2月
業況	柏崎	▲5.7	▲0.7	▲9.3	▲17.0	▲10.3	▲13.5	▲16.8
	全国	▲8.9	▲9.8	▲8.9	▲9.0	▲10.5	▲9.7	▲13.6
売上	柏崎	9.7	5.3	3.0	▲9.5	▲7.6	▲11.5	▲20.5
	全国	4.0	4.0	7.3	4.9	4.5	4.2	▲3.3
採算	柏崎	▲19.6	▲12.1	▲20.7	▲22.4	▲16.4	▲14.8	▲20.4
	全国	▲14.1	▲14.2	▲12.7	▲13.3	▲12.7	▲12.0	▲15.1
資金繰り	柏崎	▲6.0	▲2.1	▲10.5	▲9.9	▲10.4	▲9.1	▲13.0
	全国	▲12.3	▲11.8	▲11.6	▲11.8	▲12.0	▲11.7	▲12.2
仕入単価	柏崎	▲63.6	▲64.2	▲70.4	▲73.6	▲63.8	▲64.7	▲51.7
	全国	▲69.4	▲67.1	▲69.5	▲69.6	▲67.4	▲66.8	▲56.5
従業員	柏崎	18.1	23.7	25.0	17.6	17.7	18.7	15.2
	全国							24.8
資金借入難易感	柏崎	0.6	▲0.1	▲3.7	▲1.0	▲3.8	▲5.1	▲8.7



### <移動平均分析(全産業)>



### 【11月期全国全産業の動向】

#### ●全産業合計の業況DIは、▲9.7(前月比+0.8ポイント)

・建設業は、受注が堅調な公共工事が下支えし、改善した。卸売業は、飲食・宿泊業からの飲食関連の引き合いが増加し、改善した。製造業は、自動車関連が好調な一方、円安による輸入部材の高騰で横ばいにとどまり、サービス業は、飲食・宿泊業で客足が回復基調にあるものの、エネルギー価格の高騰等によるコスト増で力強さを欠いている。また、小売業は、物価高による買い控えが継続し、悪化となった。

・原材料価格やエネルギー価格の高騰に加え、人手不足に伴う人件費の上昇等、コスト負担は増加が続いている。コストに見合う十分な価格転嫁が行えていない中、深刻な人手不足も続いており、中小企業の業況は足踏みが続いている。

#### ●先行き見通しDIは、▲13.6(今月比▲3.9ポイント)

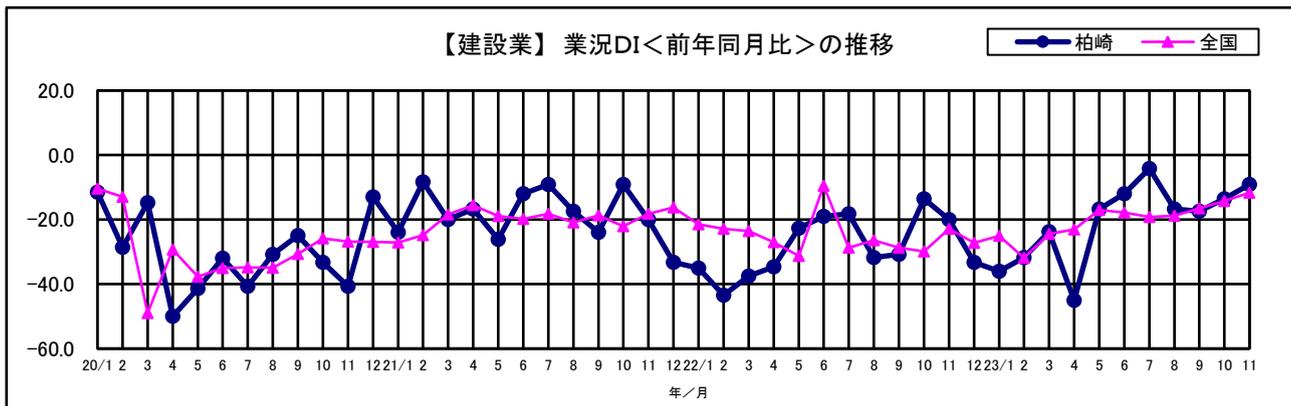
・クリスマスや年末年始を契機とした個人消費の拡大や、インバウンドを始めとする観光需要の回復が期待される。一方、長引く物価高で日用品等の買い控えが続く中、エネルギー価格の高騰や円安の伸長によるコスト増が企業収益を圧迫している。また、深刻な人手不足や価格転嫁への対応に加え、欧州・中国等の海外経済の鈍化や緊迫が続く中東情勢など、先行きの不透明感が拭えず、慎重な見方が続く。

### 【11月期柏崎全産業の動向】

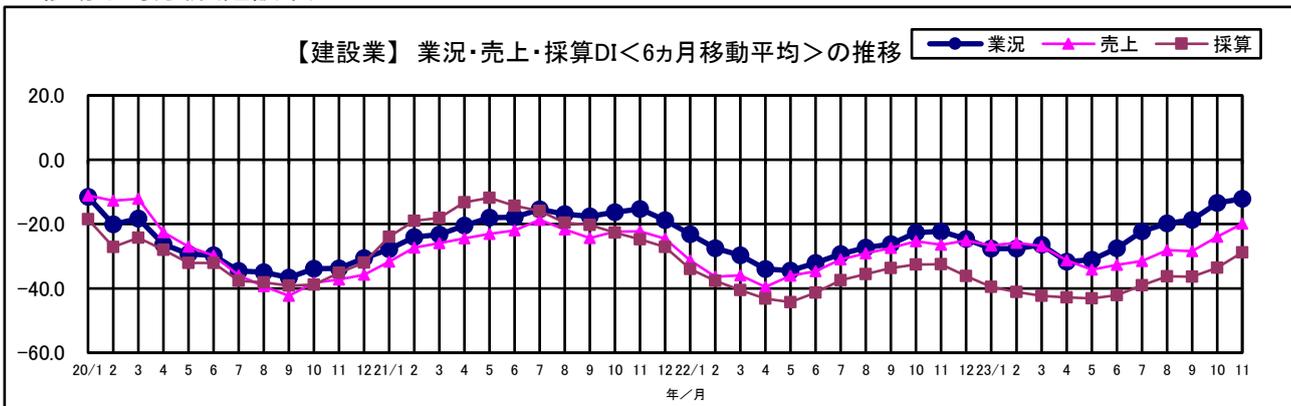
業況DIは3.2ポイント前月期から悪化した。その他、各指標大きな数字の変化は見られなかった。先行き見通しのDI値は「仕入単価」で13.0ポイントの改善が予想される中、他指標はわずかながら悪化の見通しとなるものが多い。「市内の景況感」はさらに厳しさを感じている。」といった声も上がった。

# 【建設業】

項目		23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	23年11月	先行き見通し 12月～2月
業況	柏崎	▲ 12.0	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 17.4	▲ 13.6	▲ 9.1	▲ 22.7
	全国	▲ 17.8	▲ 19.2	▲ 18.8	▲ 16.5	▲ 14.3	▲ 11.7	▲ 14.9
売上	柏崎	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 30.4	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 27.3
	全国	▲ 15.6	▲ 14.4	▲ 7.0	▲ 5.7	▲ 6.7	▲ 2.9	▲ 6.5
採算	柏崎	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 39.1	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 22.7
	全国	▲ 22.2	▲ 26.6	▲ 21.3	▲ 24.1	▲ 19.7	▲ 14.9	▲ 15.5
資金繰り	柏崎	▲ 12.0	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 17.4	0.0	▲ 9.1	▲ 18.2
	全国	▲ 8.8	▲ 6.7	▲ 7.6	▲ 8.6	▲ 6.4	▲ 6.1	▲ 8.1
仕入単価	柏崎	▲ 60.0	▲ 58.3	▲ 62.5	▲ 56.5	▲ 40.9	▲ 59.1	▲ 54.5
	全国	▲ 74.1	▲ 75.0	▲ 74.8	▲ 73.3	▲ 72.9	▲ 72.8	▲ 59.9
従業員	柏崎	32.0	37.5	41.7	47.8	45.5	36.4	36.4
	全国							37.9
資金借入難易感	柏崎	0.0	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 4.3	4.5	4.5	▲ 4.5



## <移動平均分析(建設業)>



## 【全国建設業の動向】

技術者等の深刻な人手不足や建設資材価格・エネルギー価格の高騰は継続しているものの、受注が堅調に推移する公共工事が下支えし、改善。事業者からは働き方改革の施行に先んじて、労働環境の改善に努めているとの声も聞かれた。

### <日本商工会議所に寄せられた声>

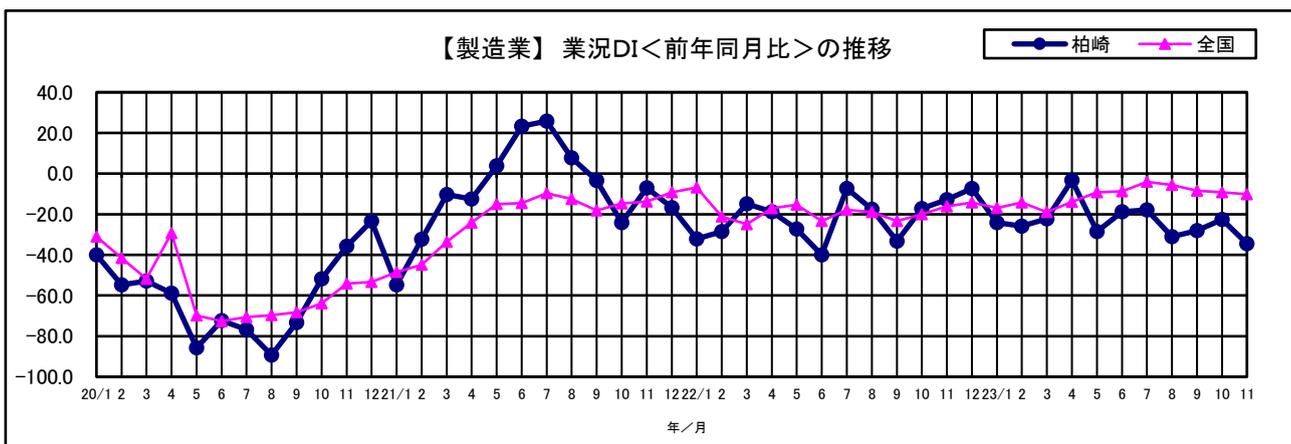
- ・「公共工事が受注が増えていることに加え、新規取引先の開拓を行ったことで、足元の売上は改善している。一方で、建設資材は輸入品が多いため、円安の伸長により負担するコストが増加しており、採算は悪化している」(大工事業)
- ・「働き方改革の施行に向けて週休2日制導入等の環境整備を行ったが、工期の長期化が見込まれるため、顧客への理解促進が課題である」(一般工事業)

## 【柏崎建設業の動向】

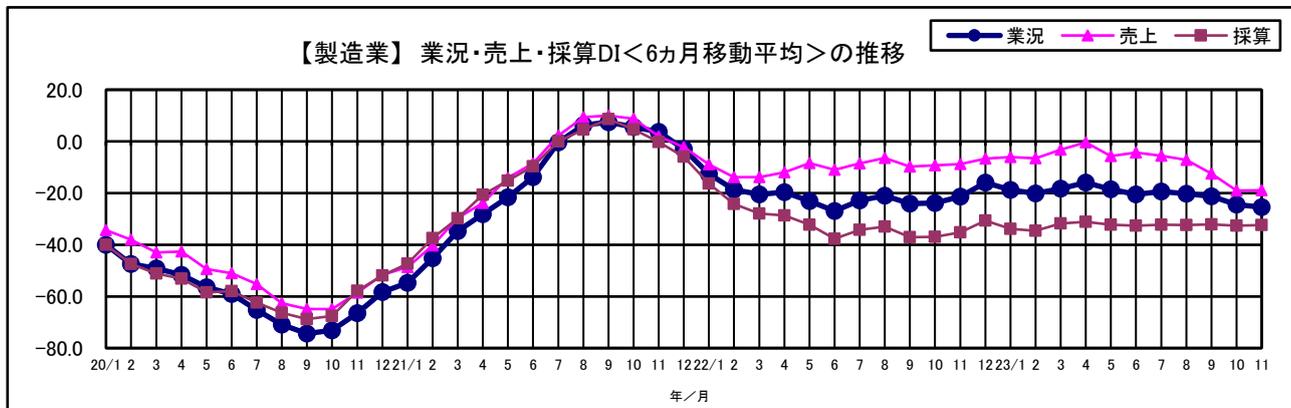
仕入単価DIが悪化する中で業況・売上・採算DIはマイナス域ながら改善。さらに、従業員の人手不足も前月期から改善の数字が見られた。しかしながら、業態別にみると依然「総合工事業」は不足の回答が多く、全体で見るとまだ課題は残るかたちとなっている。移動平均分析では各指標とも緩やかな回復傾向にあることがわかる。

# 【製造業】

項目		23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	23年11月	先行き見通し 12月～2月
業況	柏崎	▲ 18.8	▲ 17.9	▲ 31.0	▲ 28.0	▲ 22.6	▲ 34.5	▲ 31.0
	全国	▲ 8.8	▲ 4.1	▲ 5.6	▲ 8.5	▲ 9.3	▲ 10.2	▲ 12.4
売上	柏崎	▲ 3.1	▲ 7.1	▲ 20.7	▲ 32.0	▲ 22.6	▲ 27.6	▲ 24.1
	全国	13.3	9.2	9.4	5.7	7.1	5.8	▲ 2.2
採算	柏崎	▲ 28.1	▲ 39.3	▲ 37.9	▲ 32.0	▲ 22.6	▲ 34.5	▲ 27.6
	全国	▲ 14.0	▲ 12.1	▲ 12.0	▲ 12.5	▲ 9.3	▲ 11.2	▲ 13.2
資金繰り	柏崎	▲ 3.1	▲ 7.1	▲ 13.8	▲ 12.0	▲ 9.7	▲ 10.3	▲ 10.3
	全国	▲ 13.3	▲ 13.6	▲ 12.6	▲ 13.3	▲ 11.8	▲ 13.4	▲ 12.0
仕入単価	柏崎	▲ 65.6	▲ 67.9	▲ 79.3	▲ 84.0	▲ 64.5	▲ 69.0	▲ 48.3
	全国	▲ 69.6	▲ 68.4	▲ 67.6	▲ 66.3	▲ 64.1	▲ 64.5	▲ 49.5
従業員	柏崎	12.5	17.9	10.3	12.0	0.0	0.0	3.4
	全国							17.6
資金借入難易感	柏崎	3.1	3.6	3.4	8.0	0.0	3.4	0.0



## <移動平均分析(製造業)>



## 【全国製造業の動向】

自動車関連の生産・出荷が好調な一方、円安の伸長による輸入部材価格や電気代等のエネルギー価格の高騰によるコスト増が重荷となり、ほぼ横ばい。

### <日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「挽回生産が進んでいることもあり、受注数も増加している。一方で、原材料や仕入れ品の価格が高止まりする中、円安による輸入コストも増加している。価格転嫁に向けた交渉は行っているが、すでに一度値上げた製品を再び価格交渉することは厳しい状況である」(輸送用機器製造業)
- ・「人の動きが活発になり、土産店や飲食店からの受注は増えて売上は上昇しているが、輸送費や電気代の高騰で利益率は悪化している」(酒類製造業)

## 【柏崎製造業の動向】

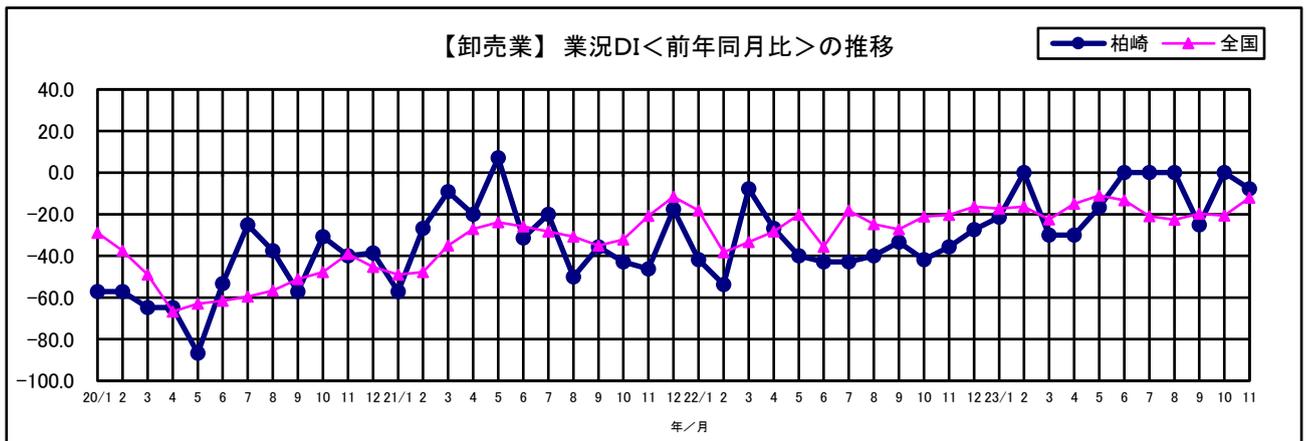
全体的に各指標でDI値の悪化が見られた。「急激な受注減少となっている。」との声も聞かれ、厳しい状況であることがうかがえる。特に「機械金属製造」では売上の項目で減少の回答が多かった。

### <柏崎商工会議所に寄せられた声>

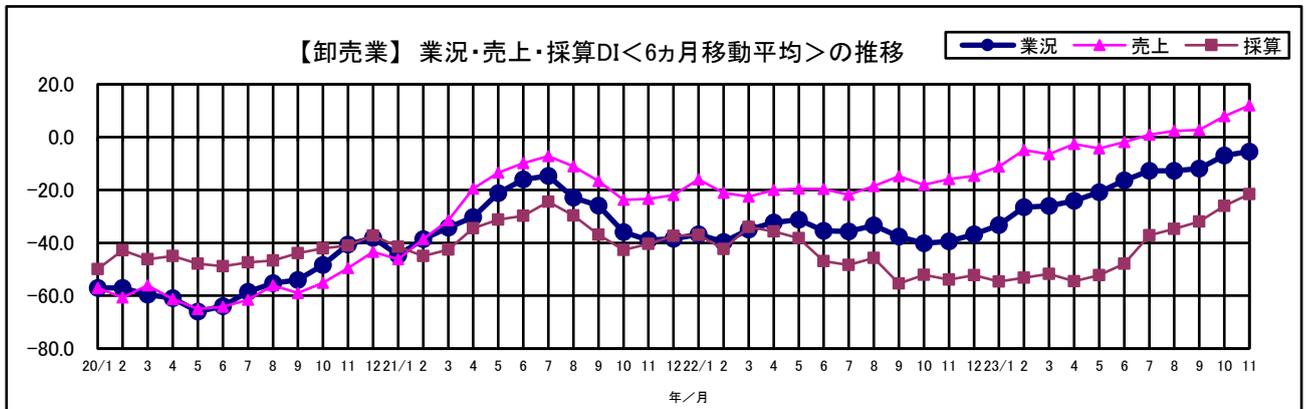
- ・急激な受注減少となっている。周りにもそんな声が出ていしばらくは上向きな受注が見込めない状況と思われる。

# 【卸売業】

項目		23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	23年11月	先行き見通し 12月~2月
業況	柏崎	0.0	0.0	0.0	▲ 25.0	0.0	▲ 7.7	▲ 7.7
	全国	▲ 13.2	▲ 20.9	▲ 22.6	▲ 19.7	▲ 20.6	▲ 12.0	▲ 16.1
売上	柏崎	14.3	16.7	20.0	▲ 8.3	21.4	7.7	0.0
	全国	1.6	0.0	▲ 0.9	▲ 2.6	▲ 5.9	6.5	▲ 6.0
採算	柏崎	▲ 28.6	0.0	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 23.1	▲ 15.4
	全国	▲ 14.8	▲ 17.0	▲ 17.4	▲ 15.9	▲ 12.6	▲ 13.4	▲ 16.6
資金繰り	柏崎	▲ 7.1	0.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 14.3	0.0	▲ 7.7
	全国	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 11.5	▲ 8.6	▲ 7.6	▲ 9.2	▲ 11.1
仕入単価	柏崎	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 57.1	▲ 61.5	▲ 46.2
	全国	▲ 67.1	▲ 57.4	▲ 59.6	▲ 68.2	▲ 64.7	▲ 63.1	▲ 52.1
従業員	柏崎	7.1	25.0	20.0	16.7	14.3	30.8	30.8
	全国							18.9
資金借入難易感	柏崎	▲ 14.3	8.3	10.0	▲ 8.3	▲ 7.1	0.0	0.0



## <移動平均分析(卸売業)>



## 【全国卸売業の動向】

梱包資材価格の高騰や在庫保管に伴う電気代等のコスト負担増は継続しているものの、客足の回復基調が続く飲食・宿泊業からの飲食品関係の引き合いが増加し、改善。

### <日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「顧客の飲食店や旅館などの客足の回復で、引き合いは増加傾向が続いている。材料価格の値上がりが続いているため、ロットを上げて単価を下げる取引先が増えてきており、足元では売上が増加しているが、先行きが見通せない状況となっている」(食料・飲料卸売業)
- ・「欧州や中国市場の停滞に伴い、必需品以外の受注数の減少に加え、低価格製品への移行が顕著で、利益が減少している」(繊維品卸売業)

## 【柏崎卸売業の動向】

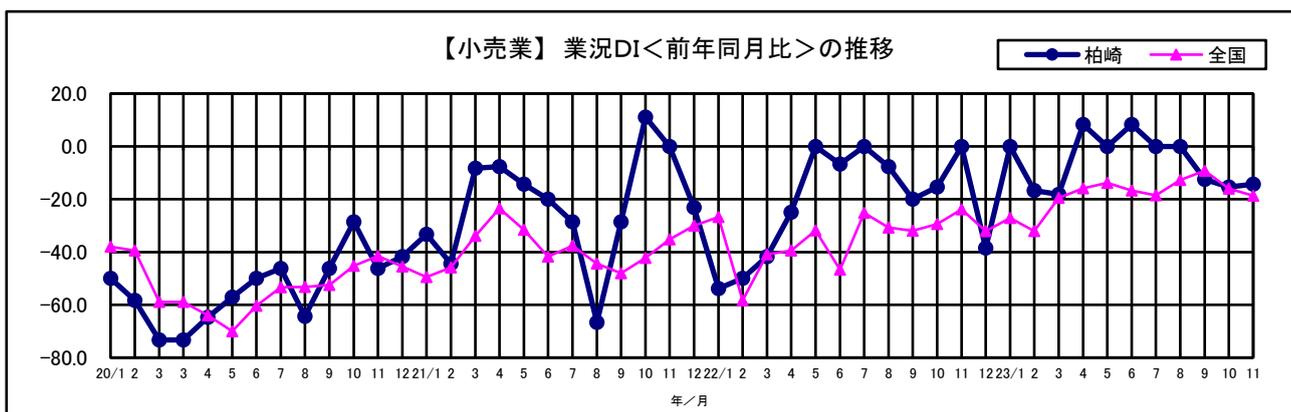
売上DIは前月期から悪化したものの、プラス域で推移している。従業員DIはここ数ヶ月の中では、最も不足感の強い結果となった。移動平均分析では、各指標とも右肩上がりで推移している。

### <柏崎商工会議所に寄せられた声>

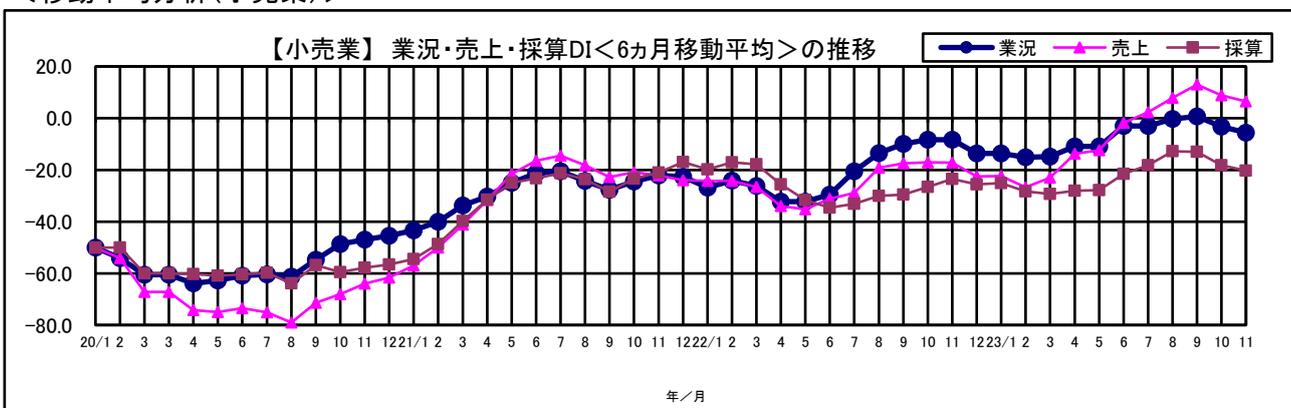
- ・インターネットの普及など需要や流行を先読みするのは難しいが、乗り遅れないように努めている。

# 【小売業】

項目		23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	23年11月	先行き見通し 12月～2月
業況	柏崎	8.3	0.0	0.0	▲12.5	▲15.4	▲14.3	7.1
	全国	▲16.7	▲18.5	▲12.7	▲9.2	▲16.0	▲18.7	▲18.7
売上	柏崎	25.0	15.4	0.0	12.5	0.0	▲14.3	0.0
	全国	▲4.9	▲1.7	4.7	1.7	1.0	▲4.2	▲5.9
採算	柏崎	▲8.3	▲7.7	▲9.1	▲37.5	▲30.8	▲28.6	▲21.4
	全国	▲17.6	▲17.0	▲15.4	▲15.7	▲14.8	▲18.7	▲19.2
資金繰り	柏崎	▲16.7	▲15.4	▲18.2	▲25.0	▲30.8	▲28.6	▲21.4
	全国	▲18.4	▲18.5	▲16.9	▲16.7	▲20.7	▲17.9	▲17.2
仕入単価	柏崎	▲41.7	▲61.5	▲54.5	▲62.5	▲69.2	▲78.6	▲64.3
	全国	▲71.3	▲69.7	▲74.5	▲73.9	▲70.7	▲72.2	▲64.9
従業員	柏崎	33.3	38.5	54.5	25.0	23.1	21.4	21.4
	全国							21.1
資金借入難易感	柏崎	0.0	▲15.4	▲18.2	▲25.0	▲23.1	▲21.4	▲28.6



## <移動平均分析(小売業)>



## 【全国小売業の動向】

長引く物価高で消費者の買い控え・来店頻度の減少が継続する中、最低賃金の引上げに伴う人件費の増加や電気代等のコスト負担増、深刻な人手不足も重なり、悪化。

### <日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「物価高の影響で消費者の購買意欲が引き続き低調であり、売上が伸びていない。加えて、電気代の高騰に伴うコスト負担増が大きい中、販売価格を上げてしまうと一層の買い控えにつながってしまうため、価格転嫁もできない状況である」(総合スーパー)
- ・「物価高・電気代の高騰で消費者の買い控えが続く中、嗜好性が高い生花の需要が減少しており、売上確保が難しい」(生花小売業)

## 【柏崎小売業の動向】

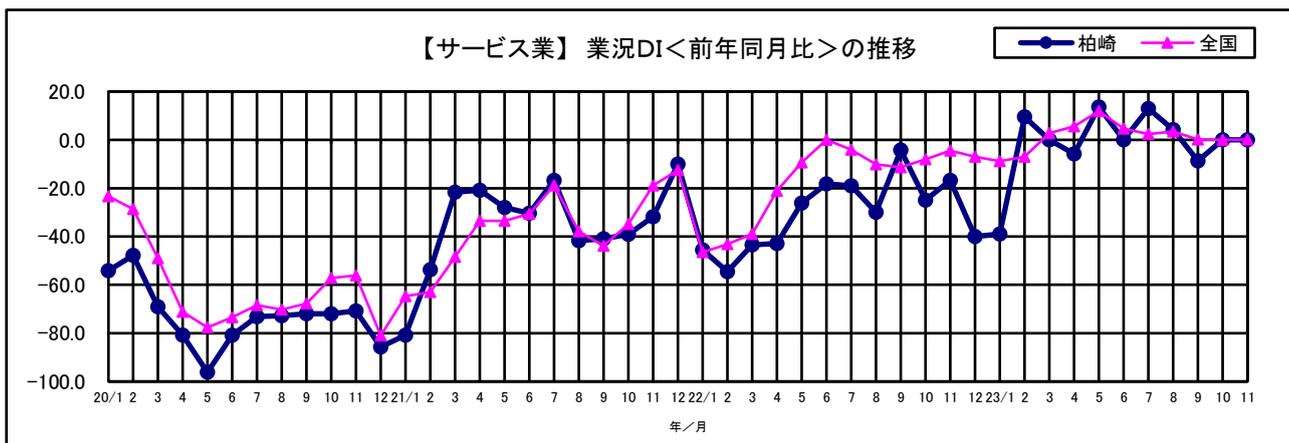
仕入単価DIは依然高止まりしており、売上DIはここ数ヶ月プラス域で推移していたが、マイナス域に転じた。「市内での景況感にはさらに厳しさを肌で感じている」「県外受注は好調」といった市内での消費の低調がうかがえる声も上がった。

### <柏崎商工会議所に寄せられた声>

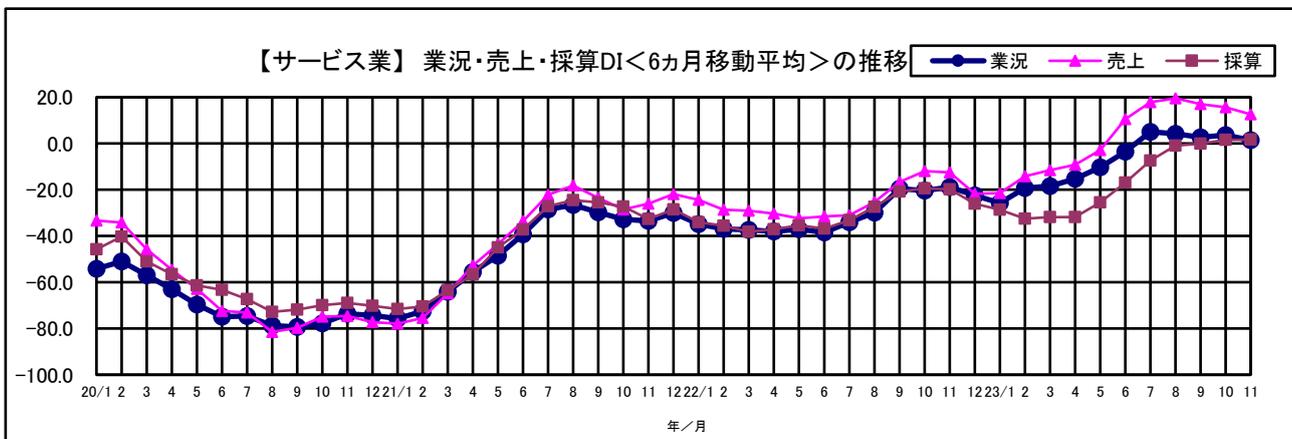
- ・地下のピアレマートが閉店した影響が大きい。それに加えて悪天候の日が続き、来客数が減ってきている。クリスマスプレゼントの購入、年賀状の購入に期待したい。
- ・市内の景況感にはさらに厳しさを肌で感じている。とにかくマインドが低下し続けている。
- ・今まで県外への展開を進めてきたがさらに加速したように感じる。県外受注は好調で毎月昨対比を大きく上回る状況が続いている。しかしながら原材料の高騰に伴い利益率が下がっているがそれを上回る受注があるので問題ない。

# 【サービス業】

項目		23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	23年11月	先行き見通し 12月~2月
業況	柏崎	0.0	13.0	4.2	▲ 8.7	0.0	0.0	▲ 19.0
	全国	4.7	2.4	3.4	0.2	0.0	0.2	▲ 8.9
売上	柏崎	25.0	21.7	29.2	8.7	▲ 4.3	▲ 4.8	▲ 33.3
	全国	15.0	16.4	20.2	16.6	16.8	12.9	0.8
採算	柏崎	▲ 4.2	13.0	▲ 4.2	0.0	▲ 4.3	9.5	▲ 14.3
	全国	▲ 6.1	▲ 5.3	▲ 3.8	▲ 4.4	▲ 10.0	▲ 5.1	▲ 12.7
資金繰り	柏崎	0.0	8.7	▲ 4.2	4.3	▲ 4.3	0.0	▲ 9.5
	全国	▲ 10.0	▲ 8.7	▲ 8.7	▲ 9.9	▲ 10.8	▲ 9.5	▲ 11.5
仕入単価	柏崎	▲ 70.8	▲ 64.0	▲ 79.2	▲ 78.3	▲ 73.9	▲ 57.1	▲ 47.6
	全国	▲ 66.0	▲ 63.2	▲ 68.8	▲ 67.9	▲ 65.7	▲ 62.6	▲ 56.6
従業員	柏崎	12.5	25.0	16.7	4.3	17.4	19.0	4.8
	全国							29.5
資金借入難易感	柏崎	4.2	0.0	▲ 4.2	4.3	0.0	▲ 9.5	▲ 9.5



## <移動平均分析(サービス業)>



## 【全国サービス業の動向】

客足の回復が続く飲食・宿泊業やインバウンド増加の恩恵を受ける観光業では堅調に推移する一方、物価高による生活関連サービスの需要停滞や仕入価格・エネルギー価格の高騰によるコスト増、深刻な人手不足が下押し、ほぼ横ばい。

### <日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「インバウンド需要が増加しており、客室稼働率も良好。より多くの宿泊客確保に向けて補助金を活用して改修工事も行っている。一方で、エネルギー価格の高騰による収益圧迫や、需要増に対応するための人材確保など、対応すべき課題は山積している」(宿泊業)
- ・「同窓会や法人宴会など大人数での宴会需要が多くなり、コロナ前の8割まで売上が回復。忘年会の予約も入ってきており、先行きに期待する」(飲食店)

## 【柏崎サービス業の動向】

業況DIは0.0ポイントと前期から横ばいだが採算DIは13.1ポイント改善し、プラス域に好転。その一因として仕入単価DIが16.8ポイント改善されたことがあげられる。仕入単価DIは先行き見通しでも改善が予想される。